

## 「バックトゥーザフューチャー・1985」

「Forward to 1985 energy life」という文字を目にしたときに感じたことはどうして1985なのか？ということでした。

ふと、思い当たったのは、大好きな映画のひとつである「バックトゥーザフューチャー」です。1985年から1955年にタイムスリップし、また1985年に戻ってくるというストーリーです。「未来に戻れ」というタイトルも面白いですね。タイトルの面白さを、野池さんの、この試みに感じたのです。

うちの事務所は全員で7人の小さな事務所ではありますが、未だに、20アンペアで事務所の電気をまかっています。最初のころはエアコンを2台動かして、炊飯器や電子レンジ、コピーを動かそうものならブレーカーが落ちたものです。アンペアアップも検討したのですが、工事が数万円もかかるということと、日頃の工夫でなんとかなるのではないかな？という楽観的な読みで現状維持としました。築50年の断熱材も入っていない借家の事務所ですが、屋根裏だけ、セルロースファイバー(180ミリ)を吹き込んでもらいました。

そうすると、エアコンが1台ですむようになりました。照明も前の事務所は、天井に蛍光灯が燦々と輝いていたのですが、今の事務所に引っ越すときに、天井に照明をほとんどつけないことにしたのです(住宅のような事務所にしたい)。

手元の家具に蛍光灯の照明を仕込んだおかげで、前に較べて蛍光灯のワット数が1/4に減りました。その残ったエネルギーを楽しみのための照明に割り当てました。震災後は、その楽しみのための照明もLEDに替え、さらに500ワットの節電に繋がりました。今年になって、ブレーカーが落ちたことがないのです。賃貸の改装物件で、暮らし方と設計の考え方みの工夫でここまでやれるのだと気付きました。野池さんのおっしゃる1985年レベルは無理がなくて、むしろ体脂肪がそぎ落とせて、ちょうどいい目標ではないでしょうか？

「バックトゥーザフューチャー・1985」は1985年という過去に、我々の未来を変える大きな「気づき」があるということなのでしょうね。  
映画のノリで「1985年の未来？に帰れ！」・・・楽しそうです。